



日本の農業を切り拓く、農業経営者へ。

日本農業経営大学校

通常講義

10月17日に2年生の後期授業が始まったのに続き、11月8日からは1年生の後期授業も始まり、久しぶりに2学年がそろいました。1年生は4カ月間の先進農業経営体派遣実習での学びを整理しながら、2年生は卒業研究の中間発表に向けて取り組みながら、座学での学びを深めています。(※後半に実習報告会の様子を記載しています)

1年生の後期は、農業経営につながる各種スキル・ツールの習得、目指すべき農業経営モデルの設定に資する授業が設置されています。「ナレッジマネジメント」では、自らの就農後の経営にどのように形式知や暗黙知を生かしていくか、現段階での就農計画についての発表なども取り入れて学んでいきます。農業分野でのマーケティングについては「食農連携マーケティング」では、マーケティング提案を考えるグループワークもおこないます。

2年生は卒業研究への取り組みが中心になるものの、就農直前だからこそ学んでおきたいテーマの授業もおこなわれています。「地方行政との連携・協働」では、独自の取り組みをおこなう地方自治体の方をお招きし、農業がどのように行政と手を携えていくかのヒントを学びます。「農業・食の経営組織」では、施設野菜、露地野菜、水稲、養豚の各経営における経営組織の

あり方について経営トップから直接お話を伺います。企業実習でさまざまな組織を経験してきた2年生たちは、これまでよりもリアルに組織のあり方について考えることができるのではないのでしょうか。

特別講義

後期最初の特別講義は現在様々な講演に引っぱりどころである、阿部梨園マネージャーの佐川友彦さんです。佐川さんはマネージャーとして農園のバックオフィス業務を担い、「畑に入らない農家の右腕」という異色の存在であり、また、経営改善の事例を紹介するサイト「阿部梨園の知恵袋」をクラウドファンディングを用いて作成したことも有名です。

そんな佐川さんから、まずは阿部梨園での取り組みについてお話を頂きました。



△講義をする阿部梨園 マネージャー 佐川友彦さん。

そもそも阿部梨園で働くまで佐川さんがどのような道を歩んでいたのか、阿部梨園で働くことになった経緯、そして実際に働きはじめてから取り組ん

だことなど、盛りだくさんかつコンパクトにお話いただきました。

後半は学生との質疑応答の時間を頂きました。それも単なる質疑応答ではなく、「阿部梨園佐川の課題解決道場」と題して、学生のお悩み相談に乗るというものでした。自家の経営課題や個人的な悩み、人生相談など何でもぶつけてもらってOKです、との力強いお言葉を頂いたので、学生たちも時間いっぱい質問をしました。

講義後は場所を移して有志による懇親会を開催しました。佐川さんは常に学生に囲まれて終始質問攻め。学生にとっては貴重な1日になったことでしょう。佐川さん、ありがとうございました！

企業実習 報告会(2年生)

1年生が実習から帰ってきてきて早々に、2年生による企業実習報告会が開催されました。

7月中旬から10月中旬にかけての3か月間、2年生各自の興味関心に基づいて様々な企業でお世話になってきました。本校では、学生が就農後に考えているビジネスや自家の課題などに照らし合わせて、学生各自が実習先を選定し、先方と調整し、実習先を決めています。今年も、ネットや店舗での小売りや流

※本誌の無断転用・転載を禁止します。

[発行人] 一般社団法人アグリフューチャージャパン

〒108-0075 東京都港区港南2-10-13 農林中央金庫品川研修センター5階

TEL：03-5781-3750 FAX：03-5781-3752



日本農業経営大学校

Japan Institute of Agricultural Management



日本の農業を切り拓く、農業経営者へ。

日本農業経営大学校

通業界、六次産業化の支援や農家の経営支援といったコンサルティング業界、あるいは観光業、飲食業など多岐に渡りました。報告会では、実習前に立てた目的・目標のおさらいがあり、それに対して実習中の業務などを通じて、何をどう学んだのか、事前の目的・目標はどう達成されたのか、あるいは残された課題は何なのか、などを順序だてて発表しました。

現在の2年生の多くは社会人経験を積んでおらず、実習前には不安もあったようですが、それぞれが実習先で多くの方にお世話になりながら、多くの学びを得た様子が伝わってきました。成長した彼らの今後に期待がふくらみます！



△2年生による発表の様子

先進農業経営体派遣実習 報告会

(1年生)

7月5日から始まった4カ月の先進農業経営体派遣実習（以下、農業実習）も11月4日に終わり、11月16日に農業実習報告会を行いました。

実習先は、北は北海道から南は鹿児島県まで広がり、野菜、水稲、果樹、畜産、花卉など、どの学生も将来の就農を見据えた実習先を選定し、実習に励みました。

報告会では実習で得た成果を中心に発表をしましたが、なかには失敗したことや達成できなかった課題を盛り込んでいる学生もあり、実習の振り返りもできているようでした。学生にとっては技術を習得する以外にも、これからの農業経営のあり方について考える良い時間になったのではないのでしょうか。この経験をこれからの学習に活かしてほしいと思います。

イベント出展

11月10日（土）～11日（日）に開催された「ファーマーズ&キッズフェスタ2018」に日本農業経営大学校として出展し、卒業生および在校生の親御さんが生産した農産物や加工品（本格的なドイソーセージ）を販売しました。卒業生が生産した立派な農産物は、イベントが始まった直後

に売り切れるものもあり、大盛況でした。



△販売の様子。多くのお客様にお越しいただきました！

日本農業経営大学校の最新情報は、facebookにて更新中！

当ページは学校スタッフと学生が運営しています。ぜひ「いいね！」をお願いします。

<https://www.facebook.com/jaiam.afj>



日本農業経営大学校

Japan Institute of Agricultural Management

※本誌の無断転用・転載を禁止します。

[発行人] 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン

〒108-0075 東京都港区港南2-10-13 農林中央金庫品川研修センター5階

TEL：03-5781-3750 FAX：03-5781-3752